

2022年度 日本工学院専門学校											
放送芸術科											
番組制作 1											
対象	1 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	山田素子			実務経験	有	職種	制作				
担当教員紹介											
放送業界で製作業務に従事していた 放送作家・構成作家・ディレクター											
授業概要											
この科目を受講する学生は、映像制作の基礎を学ぶ事で番組制作を作り手としての視点から見る事が出来るようになる。また、映像を出来るだけ理論的に捉え、自分自身の興味や適性を見出し、将来のビジョンを明確にすることを目的としている。特に放送された番組映像を用いながら番組作りを見ていく事で現場で必要となる基礎的な知識を身につける事が出来る。さらに目指す職業の仕事内容にも触れていき、放送業界を取り巻く昨今の事情など、新しい情報を習得する事で就活に繋げていく。											
到達目標											
以下、二つを習得する ①番組制作の基礎を「制作現場の目線」から学ぶことを目標とする。資料映像として、実際にOAされた映像を見つつ、番組制作の意図、流れ、演出などを習得していく。②現場の情報を得る事で将来のビジョンを明確にし、就活に活かせるような授業を目指す。常に映像の制作側の視点に立ち、番組を理論的に見る事が出来るよう、学んでいく。											
授業方法											
個人ワークやグループワークを採り入れ、他人が発する情報をどのように受けとめ、理解するか、さらにそれをどのように伝えていくかを意識しながら、授業を進める。授業で取り上げた映像を見ながら企画意図や演出、カメラワークなどを学び、自分だったどうするか？など自分に置き換えて学びを進める。											
成績評価方法											
①試験＆課題：50% 試験と課題を総合的に評価する ②提出物：30% 授業内容の理解度を確認するために実施 ③平常点：20% 積極的な授業参加度、授業態度によって評価											
履修上の注意											
この授業では、学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。但し授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。また、主体的に授業に参加する事を徹底し、プレゼンなどの発表の際は積極的な態度受講する事を求める。（詳しくは、最初の授業で説明）。さらに授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
必要な場合は授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする											
回数	授業計画										
第1回	業界の仕事内容や将来のビジョンを考える										
第2回	TV番組制作の流れを理解する										
第3回	現場で使われている放送用語について理解する										
第4回	番組のジャンルに関する理解と知識										
第5回	現場で使われている放送用語について理解する										

2022年度 日本工学院専門学校	
放送芸術科	
番組制作 1	
第6回	視聴率と制作予算について理解する
第7回	現場で使われている放送用語について理解する
第8回	視聴率と制作予算について理解する
第9回	TV創世記～現代の番組の演出について
第10回	現場で使われている放送用語について理解する
第11回	CMの企画意図、演出について理解する
第12回	代表的なCMや海外の作品について演出意図を考える
第13回	放送禁止、放送自粛など放送倫理について理解を深める
第14回	短尺の作品絵コンテ～プレゼンを行う
第15回	放送用語、番組基礎、CM等々…全体のまとめ